

施設園芸における電気設備の実証実験を開始 ～電気技術で持続可能な施設園芸をサポート～

日東工業株式会社（本社：愛知県長久手市、取締役社長 黒野 透、以下 日東工業）は、持続可能な施設園芸の実現を目指し、電気設備の実証用施設を瀬戸工場（愛知県瀬戸市）に建設し、2026 年 4 月から実証実験を開始します。

近年、施設園芸においてはカーボンニュートラルへの対応や、激甚化する自然災害への備え（BCP：事業継続計画）が急務となっています。また、施設内の環境制御や自動化が進む中、高温・多湿といった特有の環境下でも安定して電力を供給・制御できる、高い信頼性を持った電気インフラの重要性が高まっています。

日東工業は、長年培ってきた「電気の技術」を活かし、持続可能な施設園芸のために効率的なエネルギーマネジメント（自然エネルギーの活用、電力の見える化、電力制御）や省人化、電気設備の BCP 対策などの検証を進め、これらの社会課題の解決に貢献してまいります。



瀬戸工場



実証施設イメージ



栽培イメージ

■ 実証概要

目 的	持続可能な施設園芸モデルの構築
実証期間	2026 年 4 月～2029 年 3 月
設置場所	日東工業 瀬戸工場
面 積	640 m ² （栽培面積約 400 m ² ）
実証テーマ	- 施設園芸の課題抽出と対策方法の確立 - 施設園芸の効率的なエネルギーマネジメントの確立 - 施設園芸に適した製品の開発

以 上